

宮川

まちづくり協議会だより

8月号

令和元年 7月31日現在

【世帯数】 243戸

【人口】 男：339名

女：355名

合計：694名

発行日：令和元年08月16日

発行：宮川まちづくり協議会



Photo by Masatoshi Shimizu

特集：同時開催

虫送り・ひまわり祭り

取材に行ってきました：宮川太鼓衆「華鼓宮」



華鼓宮

HANATSUDUMI

デビュー

虫送り

初の試み！

同

時

8/10
(+)



虫送りの法要や各区の太鼓の打ち込みと、ひまわり祭りの演目を同じステージで披露する。

- 虫送りの会場設営の負担が減るとともに、虫送りに参加する地区民とひまわり祭り前夜祭に訪れる地区外の人々で、例年より大勢の来客だった。



【8月10日の内容】

- ジャズバンド sugar wave
- 虫送り式典
- 各区太鼓披露
- 宮川太鼓衆 はなつづみ 華鼓宮
- 若狭ウインドアンサンブル
- 宮川花火衆 彩花の花火

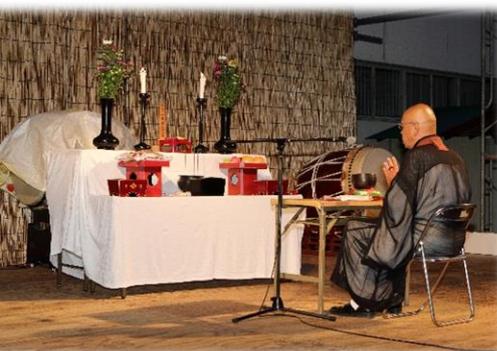
両日ともにひまわり祭りの出店飲食ブースが並ぶ。

- 今年は「華鼓宮」の出演があるため、これまで虫送りの日に出店してくれていた青年倶楽部の出店が難しかったが、それをカバーして両日とも会場の雰囲気を盛り立ててくれた。



虫送りとひまわり祭り前夜祭の花火をいっしょにする。

- 地区民からの花火協力金とひまわりまつり協賛金の一部を花火の経費に当てるので、例年のそれぞれの花火の規模より大きな花火を打ち上げることができた。



8/11
(日)

開催



【8月11日の内容】

- STEP BAND
- STUDIO NEW WAVE
- 消防音楽隊
- お楽しみ抽選会



反省点

- **実行委員会内での情報伝達・共有不足**
 - 虫送り実行委員会とひまわり祭り実行委員会、合同実行委員会の3つが並行して開かれていたため、その間の情報伝達・共有が不足した。
- **ひまわり祭り当日の来客数が伸びなかった。**
 - 地区民は前日の虫送り・前夜祭の方へ行く。
 - 地区外への宣伝不足
 - 今年はどろんこパレーが開催されなかった。
 - 当日の猛暑の影響
 - 小学校横のひまわり畑が生育不足で、加茂のひまわり畑を観に来る観光客を誘導できなかった。

ひまわり祭り実行委員会
委員長 森 誠さん

虫送り保存会
会長 明河 正治さん

みなさんの感想を公民館まで
またお聞かせください。

取材に行ってきました！

はなつづみ

宮川太鼓衆“華鼓宮”

華鼓宮

HANATSUDUMI

昨年度、総務省の補助事業を使って太鼓を購入し、地元の若者たちで太鼓衆が結成されました。

彼らは忙しい日々のなか、なぜ太鼓のバチを握ろうと決めたのでしょうか？

華鼓宮の初演を終えて、東社長からひとこと。

ここまでよく頑張ってくれたと思います。

私は常日頃大勢の生徒に太鼓を教えています、ここまで若い人たちに教える機会は珍しいです。やはり年配の方が多い。私自身も新曲を作ることが久しぶりだったので、今回は試行錯誤しながらの指導でした。新曲に挑戦するというは大変なことなのです。

華鼓宮のメンバーは若い分、教えたことの吸収が早く、だから短期間でここまで仕上げるのが出来たのだと思います。ただ、ここまでくると、もっとこうしてあげたい、あれも教えてあげたいという欲が出てきますね。今度は是非私が持っている他の曲にも挑戦して、レパートリーを増やして行ってほしいと思います。

轟く！宮川太鼓の律動



直前練習を終えて。

今回、宮川青年倶楽部のメンバーの中から集まったのは、宮川に住んでいて仕事帰りに練習に参加できる 20 代～30 代の若者たち 7 人（男 4 人、女 3 人）。5 月下旬から仕事が終わった後に集まり、10 回以上練習を重ねてきました。彼らは幼い頃から虫送り太鼓に慣れ親しんでいたため、「太鼓を打つ」ことが身近にあったといえます。

ただ、今回「太鼓センター」（京都府）に制作してもらった新曲では、虫送り太鼓にはない種類の太鼓や横笛、そして歌も入り、更には太鼓の打ち方も異なったので、最初は戸惑ったそう。それでもやはり「宮川っ子」。みんなで笑って突っ込み合いながら練習するうちに、日に日に仕上がっていきました。この日京都から指導に来て下さった人見先生（本番では笛も担当）も、「こんなにしっかりと音が出るようになったのは、きっちり練習を重ねたから。」「よくこの短期間でここまで横笛の音を出せるようになった。」と感心しておられました。

当日華鼓宮がステージ上に登場すると、会場では大きな、けどとても優しい歓声が上がりました。太鼓を聞いた方々は、みなさん「良かったよ！」と声をかけておられ、どこか誇らしそう。自分たちの地区からこうやって新たなことに取り組む（けれど伝統も引き継ぐ）若者たちが生まれていることに、心の中が熱くなったのだと思います。



太鼓の指導をしてくださる太鼓センターの東宗謙社長。

竹中さんに聞く、華鼓宮結成にかける思い。

昨年度で自分たちの通った宮川小学校が閉校になり、やはりとても寂しく感じています。そのことによって、今まで小学校主体で行っていた地区と関わる行事もなくなり、宮川地区としての枠がぼやけていくような気がしています。おまけに虫送りで各区が太鼓の打ち込みをするときに、子どものいない区も出てきています。ということは、行事はあっても子どもたちに太鼓を継承していくことが難しくなっていくのではないかと思います。

このような状況のなか、自分たちがまずは華鼓宮を形にして、これから宮川で大きくなる子どもたちが後で入ってきやすいようにしていきたいです。宮川の子どもたちはやはり縦の繋がりが強いというか、自分たちも 10 歳程年の離れた者同士が集まっているけれどみんな仲が良いので、こういうコミュニティを残していきたいという思いもあります。



華鼓宮代表 竹中 裕一さん



◀谷川治一さんが持ってきてくれた『躑躅草』

ほかにも、宮川地区でこんなことがありました

7月18日(木)

宮川シンボルマーク垣根剪定

宮川の歴史を伝える会の島中さんと正木さんが、雨の降る中公民館前県道沿いにある垣根を剪定してくれると…



なんと、宮川シンボルマークの形でした！みなさんご存知でしたか？



7月19日(金)

夏の交通安全立哨

交通安全宮川班のみなさんによって、バス通学になっても宮川っ子たちは見守られています。



7月20日(土)

集落排水処理場草刈り奉仕



集落排水組合員のみなさんによって、施設は綺麗に維持されています。



記念写真

通学路花いっぱい運動

連日水やりボランティアさんががんばってくださっています

お蔭でこの猛暑に負けず咲いています。



川の水をポンプで容器に汲み上げ、あとはひたすらバケツで水やり。



8月3日(土)

ひまわり畑直前草刈り奉仕



ひまわり祭り実行委員会や生活環境整備委員会、区長会、区長代理のみなさん

が、加茂のひまわり畑と旧宮川小学校周辺の草刈りをしてくださいました。



8月4日(日)

野木川生き物調査

宮川小学校の閉校後も、今年度は(株)宮川グリーンネットワークと子ども会が共催で行いました。去年より2種類多くの生き物が見つかったそうです。この後子ども会は岡津マリンパークへ移ってB.B.Q.をしました。夏のいい思い出ですね。



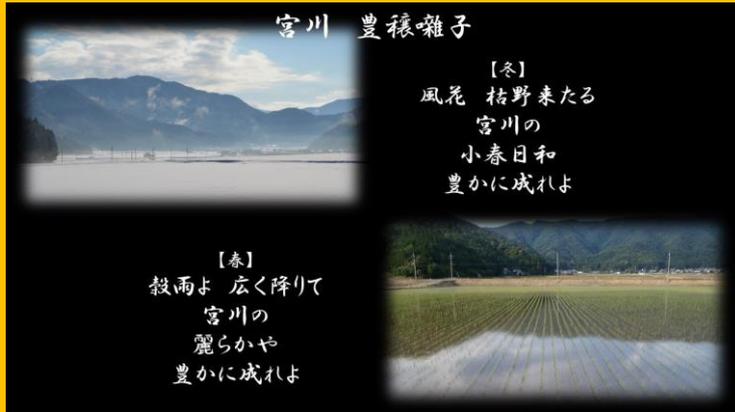
8月10日(土)

いずみの会 生け花教室

お盆を控え、床の間に飾るための生け花を長泉寺の漆崎先生がご指導してくださいました。みなさん、真剣です。



華鼓宮 新曲「宮川 豊穰囃子」



ステージにマイクが無かったため、華鼓宮のみなさんの声がおそらく客席の方までしっかりと届かなかったと思います。彼らが唄っていた歌詞をご紹介します。

この唄は、太鼓センターの東社長が実際に宮川の地に赴き、地区内を見て回ったうえで虫送りの意味を考え、その要素も入れて作ってくださったものです。

地面を踏みしめ、前を向き、
宮川の若者はこの節を堂々と唄う。

少子化かもしれないが、
宮川に住んでいる若者の心は
「鼓」に負けない。



お 知 ら せ

9月の行事予定

- 10(火) すくすく広場
(09:30~11:30、宮川保育園)
- 12(木)・26(木) 小浜病院巡回診療日
(14:00~、宮川公民館)
- 17(火) いきいき100歳体操
(10:00~、宮川公民館)
- 28(土) 宮川保育園 運動会

9/8(日)

宮川地区
スポーツ協会主催

**スポーツ
交流会**

ソフトバレー・
ソフトボール

9時から
旧宮川小学校にて

9月の休館日〈8日間〉

- | | |
|------------|----------|
| 2(月) | 9(月) |
| 15(第3日曜) | 16(月・祝日) |
| 17(火・振替休館) | 23(月・祝日) |
| 24(火・振替休館) | 30(月) |

残暑厳しいですが
熱中症にはご注意ください。

編集後記

テレビや新聞では連日、児童虐待や親子殺人、日韓関係のヘイト的報道など、日本の未来が不安になるニュースばかりですが、先日福井新聞のオンラインニュースにほっこりする記事がありました。小浜市川崎の芝生公園のトイレに、滋賀県の男性から「何時も気持ちよく使わせて頂いております。ありがとうございます。」と書かれた造花が飾ってあったそうです。日本はこういうニュースをもっとたくさんとりあげるべきで、こういう温かい気持ち♡は周りに伝染すると思います。目を凝らせば自分の周りにはこんな出来事がたくさん転がっているんですよ。宮川地区でもこういうニュースをたくさん採り上げていきたいな、と思いました。